

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

記

1. 競争入札に付する事項

- (1) 入札件名：「MUF/SRD解析システムの整備」
- (2) 仕様：入札説明書による。
- (3) 数量：一式
- (4) 納期：2027年 2月26日
- (5) 納入場所：茨城県那珂郡東海村白方字白根2-53
公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター内指定場所

2. 必要書類等の提出場所等

- (1) 契約事項を示す場所及び入札説明書を交付する場所

郵便番号：110-0015

所在地：東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階

機関名：公益財団法人核物質管理センター

担当部署：総務部 契約課

フリガナ：イイズミ ケイ

担当者名：飯泉 慧

電話番号：03-5816-7765

FAX：03-3834-5265

Mail：keiyaku-info@jnmcc.or.jp

交付方法：センターホームページ内「調達情報」よりダウンロードすること。

- (2) 入札説明書のダウンロード可能期間

2026年 1月23日（金）～2026年 2月12日（木）午後5時まで

- (3) 質問書提出期限（本入札に参加するには、期限までに質問書を提出すること）

2026年 2月16日（月）午後4時まで

公益財団法人核物質管理センター 東京本部

総務部 契約課 必着（FAX・電子メール可）

なお、質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること。

- (4) 入札仕様書等提出期限

2026年 2月24日（火）午後4時まで

公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着（電子メール可）

- (5) 入札及び開札の日時及び場所

2026年 3月10日（火）午後1時30分

公益財団法人核物質管理センター 東京本部 3F会議室

なお、入札書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るように、東京本部

総務部 契約課まで 2026年 3月 9日（月）午後5時必着とする。

3. 入札方法

落札決定にあたっては、入札書に記載された金額（非課税分を除く）に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者か免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

4. 競争入札に参加する者に必要な資格

(1) 次の①～⑤に該当する者は入札に参加することができない。

①成年被後見人

②未成年者、被保佐人及び被補助人（契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。）

③破産者で復権を得ない者

④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者（代理人、支配人、その他の使用人として使用する者についても、同様とする。）

⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者

(2) 2025年度 国・地方公共団体等における競争参加資格（東北、関東・甲信越）の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

5. 入札保証金

免除する。

6. 入札の無効

入札参加資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

7. 契約書作成の要否

契約締結にあつては、契約書を作成するものとする。

8. 落札者の決定方法

予定価格の制限に達した入札者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

9. その他

詳細については、入札説明書による。

2026年 1月23日

公益財団法人核物質管理センター
総務部長 猪狩和

入札説明書

一般競争入札の詳細は下記のとおりとする。

記

1. 競争入札に付する事項

- (1) 入札件名：「MUF/SRD解析システムの整備」
- (2) 仕様：仕様書による。
- (3) 数量：一式
- (4) 納期：2027年 2月26日
- (5) 納入場所：茨城県那珂郡東海村白方字白根2-53
公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター内指定場所

2. 必要書類等の提出場所等

(1) 契約事項を示す場所及び提出場所等

郵便番号：110-0015
所在地：東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階
機関名：公益財団法人核物質管理センター
担当部署：総務部 契約課
フリガナ：イイズミ ケイ
担当者名：飯泉 慧
電話番号：03-5816-7765
FAX：03-3834-5265
Mail：keiyaku-info@jnmcc.or.jp

(2) 質問書提出期限（本入札に参加するには、期限までに質問書を提出すること）

2026年 2月16日（月）午後4時まで

公益財団法人核物質管理センター 東京本部

総務部 契約課 必着（FAX・電子メール可）

なお、質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること。

(3) 入札仕様書等提出期限（11. その他（1）②に示す書類）

2026年 2月24日（火）午後4時まで

公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着（電子メール可）

(4) 入札及び開札の日時及び場所

2026年 3月10日（火）午後1時30分

公益財団法人核物質管理センター 東京本部 3F会議室

なお、入札書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るように、東京本部

総務部 契約課まで 2026年 3月 9日（月）午後5時必着とする。

3. 入札方法

(1) 請負金額一式とする。

- (2) 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額（非課税分を除く）に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者か免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

4. 競争入札に参加する者に必要な資格

- (1) 次の①～⑤に該当する者は入札に参加することができない。
 - ①成年被後見人
 - ②未成年者、被保佐人及び被補助人（契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。）
 - ③破産者で復権を得ない者
 - ④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者（代理人、支配人、その他として使用する者についても、同様とする。）
 - ⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者
- (2) 2025年度 国・地方公共団体等における競争参加資格（東北、関東・甲信越）の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

5. 入札保証金

免除する。

6. 技術審査

提出された入札仕様書等は契約担当者において審査し、採用し得ると判断した入札仕様書等を提出した者のみ入札に参加できるものとする。

7. 入札及び開札

- (1) 入札は契約の申込みとして取り扱う。
- (2) 代理人又は復代理人（以下「代理人」という。）が入札する場合は、入札書（参考資料2）に、代表者の氏名（年間委任状が提出されている場合は当該代理人の氏名）及び法人名称もしくは商号、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名を記入して押印をしておくとともに、その者に対する委任状（参考資料1）その他これに準ずる書類をもって代理権のあることを証明するものとし、入札書と同時に提出することとする。
- (3) 入札書の記載方法
 - 入札は、すべて入札書で行う。入札書は横書、楷書で明確に記載し、数字はアラビア数字を用いて作成したうえ、封かんし、封皮には、自己の氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「何月何日開札、_____の入札書在中」と記入しなければならない。
 - 郵便により提出するときは、二重封筒とし、入札書を中封筒に入れて密封のうえ当該中封筒の封皮には直接提出する場合と同様に氏名等を記入し、外封筒の封皮には、「何月何日開札、_____の入札書在中」と記入しなければならない。
- (4) 代表者（年間委任状による受任者を含む）又は、その代理人（以下「競争入札参加者等」という。）は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならぬ。
- (5) 競争入札参加者等は、その提出した入札書の差換え、変更、又は、取消をすることができる。
- (6) 開札は、第2項第4号に掲げる日時及び場所で競争入札参加者等の立会いのもとに行うものとする。
- (7) 競争入札参加者等が開札に立会わないときは、入札事務に關係のないセンター職員を立会わせて行うものとする。
- (8) 競争入札参加者等が開札現場において、次の①～③に該当する行為があると認められたときは、入札から排除する。
 - ①入札に際し、不当に価格を競り上げ、又は競り下げる目的をもって連合した者
 - ②入札に参加することを妨げた者
 - ③入札事務担当者の職務の執行を妨げた者
- (9) 競争入札参加者等は、開札時刻後において、入札現場に入場することができない。
- (10) 競争入札参加者等は、契約担当者が特に止むを得ない事情があると認めた場合のほか、入札現場を退場することができない。

8. 入札の無効

- 競争入札参加者等が次の各号の一に該当する場合における入札は、無効とする。
- (1) 第5項に掲げる資格を有していない者及び前項第8号に該当する者の行った入札。
 - (2) 郵送により提出された入札書が所定の日時までに到着しなかったとき。
 - (3) 提出された入札書が、その封筒の表記から当該入札の入札書であることが確認し難いとき。
 - (4) 入札書の記載事項が不明なとき。
 - (5) 入札書に記名、押印並びに代理人の場合は、代理人の表示がないとき。
 - (6) 同一人が2以上の入札書を提出したとき。
 - (7) 競争入札参加者等が他の競争入札参加者の代理人として入札書を提出したとき。
 - (8) 前各号のほか、入札に必要な条件を備えないとき。

9. 落札者の決定方法

- (1) 予定価格の制限に達した入札者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。落札者がないときは、直ちに再度の入札を行うことがある。
ただし、郵便による入札があった場合は、別に定める日時に再度の入札を行う。
入札の回数は、原則として3回以内とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、競争参加者のうちから、くじにより落札者を決定する。
当該競争参加者のうち出席しない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のないセンターの職員がくじを引くものとする。
- (3) 前各号においても、センターの予定価格に達しない場合は、3回目の最低入札価格提示者と減額交渉を行うものとする。
- (4) 落札者が契約担当者の定める期日までに、センターが妥当と判断する理由により契約書の取り交わしをしないときには、落札者の決定を取り消すことができるものとする。
- (5) 労働者派遣契約の場合、6. の技術審査に合格したスキルシートに該当する派遣候補者が確保されていることが前提であり、落札後、スキルシートに該当する派遣候補者が派遣できない場合は、落札者の決定を取り消すことができるものとする。

10. 契約書の作成

本契約には、センターの定める契約条件による契約書を作成する。

11. その他

(1) 提出書類

- ① 2026年 2月16日（月） 午後4時まで（FAX・電子メール可）
 - ・質問書（参考資料4）
 - ② 2026年 2月24日（火） 午後4時まで（電子メール可）
 - ・資格審査結果通知書（全省庁統一資格）等の写し 1部
 - ・入札仕様書（参考資料5） 1部
 - ・参考見積書（消費税が分かる内訳書含む） 1部
 - ・契約者情報連絡書 1部
 - ・資格要件確認書に記載されている資料 1部
 - ・山積表 1部
 - ③ 入札・開札当日
 - ・代理人が入札する場合は、その者に対する委任状（参考資料1）または、これに準ずる書類。
- (2) 入札に必要な費用は、全て入札者の負担とする。
 - (3) 開示した資料・図面等は必ず返却する。

提出書類確認表

案件名：「MUF/SRD解析システムの整備」

開札日：2026年 3月10日(火) 午後1時30分

確認	提出書類名	提出期限	参考資料No.	備考
	質問書	2026年 2月16日(月) 午後4時まで(電子メール可)	4	入札参加者は必ず提出すること
	資格審査結果通知書 (全省庁統一資格)等の写し	2026年 2月24日(火) 午後4時まで(電子メール可)	—	
	入札仕様書	2026年 2月24日(火) 午後4時まで(電子メール可)	5	(A)～(C)を参考にすること
	参考見積書	2026年 2月24日(火) 午後4時まで(電子メール可)	—	消費税が分かる内訳書含む
))	資格要件確認書 (記載されている資料含む)	2026年 2月24日(火) 午後4時まで(電子メール可)	6	記入例を参考にすること
			7	「品質保証計画書」を提出済の場合参考にすること
	契約者情報連絡書	2026年 2月24日(火) 午後4時まで(電子メール可)	10	「紙の契約書」か「電子契約」かを必ず選択すること
	山積表	2026年 2月24日(火) 午後4時まで(電子メール可)	8	
	入札辞退届	決定後速やかに(電子メール可)	3	
	入札書	【郵送の場合】2026年 3月 9日(月) 午後5時必着	2	「入札書」と「委任状」についてを参考にすること
	委任状	【郵送の場合】2026年 3月 9日(月) 午後5時必着	1	「入札書」と「委任状」についてを参考にすること

提出方法 (いすれか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 1(A)

(支店長等が一定期間代理人となる場合)

年 月 日

※提出日を記入
(郵送の場合は発送日)

委 任 状

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

私は、下記の者を代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

記

代理 人 住 所

※支店・営業所等の所在地を記入

会 社 名

※会社名及び支店・営業所等の名称を記入

代理人名

印

※代理人の肩書及び氏名を記入

委任事項 1. 入札及び見積に関する件

2. 契約締結に関する件

3. 契約代金の請求及び受領に関する件

4. 復代理の選任に関する件

5. 【その他、必要に応じて記載】

委任期間 ○○年○月○日から○○年○月○日まで

代理人使用印鑑	印
---------	---

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いすれか)	→ 郵送、持参
押印の省略	→ 不可

参考資料 1(B)

(社員等が入札のつど代理人となる場合)

年 月 日

※提出日を記入
(郵送の場合は発送日)

委任状

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会社名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

私は、_____を代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

※代理人の氏名を記入

記

委任事項

2026年3月10日に行われる「MUF/SRD解析システムの整備」の入札に関する件について

代理人使用印鑑	印
---------	---

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いすわか)	⇒	郵送、持参
押印の省略	⇒	不可

參考資料 1(C)

(支店等の社員等が入札のつど復代理人となる場合)

年 月 日

※提出日を記入
(郵送の場合は発送日)

委任状

公益財団法人核物質管理センター

總務部長 猪狩 和 殿

住 所

※支店・営業所等の所在地を記入

会社名

※会社名及び支店・営業所等の名称を記入

代理人名

印

※代理人の肩書及び氏名を記入

私は、
を復代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

※復代理人の氏名を記入

記

委任事項

2026年3月10日に行われる「MUF/SRD解析システムの整備」の入札に関する件について

復代理人使用印鑑 印

【注意】この場合、代表者からの代理委任状(復代理の選任に関する委任を含む)が必要

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

◆ 必ずお読みください ◆

「入札書」と「委任状」について

入札者により提出いただく「入札書」と「委任状」が異なります。
下記を参考の上書類を作成、提出してください。

入札者	提出書類	参考資料 No.	書類記載名	押印省略	提出方法
代表者	入札書	2 (A)	「 <u>代表者</u> 」	不可	郵送又は持参
	委任状	1通目 2通目	—	—	—
代理人	入札書	2 (B)	「 <u>代表者</u> 」と「 <u>代理人</u> 」	不可	郵送又は持参
	委任状	*1(A) 又は 1(B) 2通目	「 <u>代表者</u> 」から「 <u>代理人</u> 」へ —	不可 —	郵送又は持参 —
復代理人	入札書	2 (C)	「 <u>代理人</u> 」と「 <u>復代理人</u> 」	不可	郵送又は持参
	委任状	*1(A) 又は 1(B) 2通目	「 <u>代表者</u> 」から「 <u>代理人</u> 」へ 1(C) 「 <u>代理人</u> 」から「 <u>復代理人</u> 」へ	不可	郵送又は持参

※ 代 表 者 :「資格審査結果通知書(全省庁統一資格)」記載の法人代表者

代 理 人 :代表者以外(支店長、部長、課長等の社員等)

復代理人 :代理人が更に選任した代理人(支店等の社員等)

提出方法 (いすれか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 2(A)
(代表者が入札する場合)

入札書

件名：「MUF/SRD解析システムの整備」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額

拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年月日

※提出日を記入
(郵送の場合は発送日)

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会社名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

提出方法 (いすわか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 2(B)
(社員等の代理人が入札する場合)

入札書

件名：「MUF/SRD解析システムの整備」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額

拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年月日

※提出日を記入
(郵送の場合は発送日)

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会社名

代表者名

印

※代表者の肩書きと氏名を記入

代理人名

印

※委任状に記載の代理人氏名を記入

提出方法 (いすわか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 2(C)

(支店等の社員等が復代理人として入札する場合)

入札書

件名：「MUF/SRD解析システムの整備」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額

拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年月日

※提出日を記入
(郵送の場合は発送日)

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住所

会社名

代理人名

印

※委任状に記載の代理人氏名を記入

復代理人名

印

※委任状に記載の復代理人氏名を記入

提出方法 (いすれか)	⇒ FAX、電子メール、郵送、持参
押印の省略	⇒ 可

参考資料 10

※本書類は参考見積書に添付してご提出ください。

公益財団法人 核物質管理センター 御中

年 月 日

契約者情報連絡書

案件名	「MUF/SRD解析システムの整備」
-----	--------------------

契約書記載情報		※契約書に記載する「契約名義人」情報を記載してください。
所在地	(〒 - - -)	
名称		
役職		
氏名		
契約名義人 (□内に✓を記入する)	「資格審査結果通知書(全省庁統一資格)」記載の法人代表者と <input type="checkbox"/> 同じ <input type="checkbox"/> 異なる(代理人) ⇒ 代表者から代理人への「委任状」を提出してください	
※注意事項	※契約名義人はセンターと契約締結をする代表者または代理人です。 (契約日が4月1日の場合は4月1日時点の契約名義人を記載) ※契約名義人に変更があった場合は速やかに本書類の再提出をお願いします。	

契約書送付先情報		※「契約書を送付する」情報を記載してください。
住所	(〒 - - -)	
名称		
所属		
役職		
フリガナ		
氏名		
電話番号	- - - - -	
契約書 (□内に✓を記入する)	<input type="checkbox"/> 紙の契約書 <input type="checkbox"/> 電子契約 で取り交わし希望	
電子契約書 送付先アドレス	@	
適格請求書発行 事業者登録番号	(Tで始まる13桁の数字) T	

※「登録番号」について、ご不明な点がございましたら下記までお問合せください。

(公財)核物質管理センター 総務部 経理課 TEL:03-5816-7764

センター使用欄

提出方法 (いすれか)	⇒ FAX、電子メール、郵送、持参
押印の省略	⇒ 可

参考資料 3

入札辞退届

件名：「MUF/SRD解析システムの整備」

上記の入札を都合により辞退します。

年月日

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会社名

責任者名

担当者名

連絡先

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いすれか)	→ FAX、電子メール、郵送、持参
押印の省略	→ 可

参考資料 4

参加者は必ず
提出すること

※質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること

年 月 日

「MUF/SRD解析システムの整備」に係る質問書

会社名	
連絡先	TEL 担当者名 FAX
質問	
回答	
答	

センター使用欄

提出方法	→	電子メール、郵送、持参 (いすねか)
押印の省略	→	可

参考資料 5(A)

【入札仕様書作成例】(表紙)

公益財団法人核物質管理センター殿

入札仕様書

件 名 「MUF/SRD解析システムの整備」

会社名：

責任者名：

担当者名：

連絡先：

参考資料 5(B)

提出方法 (いすわか)	→	電子メール、郵送、持参
押印の省略	→	可

(※変更点がない場合の記載例)

入札仕様書につきましては、2026年1月23日付公示の仕様書のとおりと致します。

以上

【注意】指定された物品が「相当品」となる場合は
「参考資料 5(C)」(変更点がある場合の記載例)
に記載し提出すること

提出方法	→ 電子メール、郵送、持参
押印の義務	→ 可

(※変更点がある場合の記載例)

入札仕様書につきまして、下記のとおり変更または追加致します。その他につきましては、2026年1月23日付公示の仕様書のとおりと致します。

記

頁	項	仕様書内容（当センター配布）	変更内容または追加内容	備考（変更理由、追加理由等）

以上

【注意】指定された物品が「相当品」となる場合は、その旨を記載し提出すること

資格要件確認書						
契約番号	151-077		請求元課室			
契約件名	MUF/SRD解析システムの整備		購買区分	A・B・C・D・E		
参加者名			評価の有無	無(有)(下記のとおり)		
評価項目	仕様書ページ	確認項目	証明資料	判定	判定理由	判定者
1 業務の実施・管理体制等	1.1 業務の実施体制	① 業務の実施に十分な人員数及びスキル(業務遂行に必要な有資格等)が確保されていること。				請求元課室長
		② 必要な業務分担(設計開発、製造、調達、試験、検査、保守、設置工事、品質保証等)及び管理体制(品質管理責任者、作業管理者等を含む)がとられていること。				請求元課室長
	1.2 品質管理及び情報セキュリティ体制	① 受注する製品及びサービスを要求項目に沿って提供できる品質管理体制(設計・開発を含む)が確立していること。	ISO9001の写し			請求元課室長
		② 情報セキュリティに対する管理体制が確立していること。	ISO27001の写し			請求元課室長
	1.3 コンプライアンス	①コンプライアンス違反の有無(有の場合どのように改善したか。)				請求元課室長
		②不適合事象の有無(有の場合どのように改善したか。)				請求元課室長
2 技術確認事項	2.1 技術能力の確認	P.2 7-(2) 技術員には、プログラミング言語Javaを用いたアプリケーション、及び、データベース・システムMSSQL、ウェブサーバーサービスWebLogic Serverを用いた開発・移行経験が5年以上ある者を充てること。	左記の知識・経験を有することを示す資料			請求元課室長
	2.2 技術設備の確認					

資格要件確認書

契約番号	151-077		請求元課室			
契約件名	MUF/SRD解析システムの整備		購買区分	A・B・ <input checked="" type="radio"/> C・D・E		
参加者名			評価の有無	無(有)(下記のとおり)		
評価項目	仕様書 ページ	確認項目	証明資料	センター記入欄		
				判定	判定理由	判定者
2.3 物品性能の 確認						
2.4 物品の実績 の確認						
<p>(注) 各確認事項を証する資料名を「証明資料」欄に記載し、当該資料を入札仕様書又は見積書に添付のうえ契約担当者に提出すること。</p>						

提出方法 (いすれか)	⇒ 電子メール、郵送、持参
押印の省略	⇒ 可

資格要件確認書

契約番号: XXX-XXX

社名を記入してください。

提出する資料名を記入してください。
請求元
購買区
評価の有無

契約件名: XXXXXXXXXXXXXXXXX

※社印は不要です。

社名: ●●●●株式会社

評価項目	仕様書 ページ	確認項目	証明資料	センター記入欄		
				判定	判定理由	判定者
1 業務の実 管理体制等	1 体制	※タイトル行(太線内)は変更しないでください。 ※本件の実務上、(開発部門と開発を含む)が確立していること。 ② 情報セキュリティに対する情報セキュリティ体制 と。複数例示された資料から選択する場合は提出する資料名を○で囲んでください。	QMS体制図 ●●●●資格証(写) □□□□証明書			
2 技術確認事項	2.1 技術能力の 確認	P.1 2(3) ① ○○の資格を有する作業員を配置できること。	●●●●資格証(写) □□□□証明書			
	2.2 技術設備の 確認	例示された資料と提出資料が異なる場合は実際の資料名に訂正してください。				
	2.3 物品性能の 確認	P.3 4(1) ① の性能要件を満たしていること。	製品のスペックがわかる資料(カタログ等)			
	2.4 物品の実績 の確認	P.4 5(1) ① 過去5年間で、当該製品は、(耐震設計基準●クラスで)納入実績を示すこと。	納品実績表			

「センター記入欄」には何も記入しないでください。

(注) 参加者は、各確認事項を証する資料名を「証明資料」欄に記載し当該資料を添付のうえ契約担当者へ提出すること。

提出方法
（いすねか） → 電子メール、郵送、持参
押印の省略
→ 可

山 積 表

件 名：「MUF/SRD解析システムの整備」

会社名：○○○○○○○○○ 印

参考資料8
年 月 日

作業項目 (見積内訳項目と同じ)	技術者 クラス	日付又 は月数	締結日	目付又 は月数	目付又 は月数	日付又 は月数	備考
1. ○○○○○○○							
(1) ○○○○○○○	Aクラス		○人日	○人日	○人日	○人日	0人日
(2) ○○○○○○○	Bクラス		○人日	○人日			0人日 0人日
2. ○○○○○○○							
(1) ○○○○○○○	Bクラス			0人日	0人日		
(2) ○○○○○○○	Dクラス			0人日	0人日		
3. ○○○○○○○							
(1) ○○○○○○○	Aクラス			0人日	0人日	0人日	
(2) ○○○○○○○	Cクラス			0人日	0人日	0人日	0人日
4. ○○○○○○○							
(1) ○○○○○○○	Cクラス				0人日	0人日	
(2) ○○○○○○○	Dクラス				0人日	0人日	0人日
5. ○○○○○○○							
(1) ○○○○○○○	Aクラス						0人日
(2) ○○○○○○○	Cクラス					0人日	0人日

MUF/SRD解析システムの整備

仕 様 書

2026 年度

公益財団法人 核物質管理センター

目次

1 件名.....	1
2 目的.....	1
3 納入場所.....	1
4 納期.....	1
5 作業内容.....	1
6 試験・検査.....	1
7 業務に必要な資格等	2
8 支給品及び貸与品	2
9 提出書類.....	2
10 検収条件.....	4
11 契約不適合責任	4
12 情報セキュリティの確保	4
13 特記事項.....	5

別紙 技術仕様書

1 件名

MUF/SRD解析システムの整備

2 目的

本仕様書は、公益財団法人核物質管理センター（以下「センター」という）情報解析課が所管する業務用ウェブアプリケーションソフトウェア（以下「業務ソフト」という）であるMUF/SRD解析システムの機能改善について、受注者に請負わせる為の仕様について定めたものである。

3 納入場所

〒319-1106

茨城県那珂郡東海村白方白根 2-53

センター 東海保障措置センター内指定場所

4 納期

2027年2月26日(金)

5 作業内容

受注者は以下の(1)から(3)に示す作業を行うこと。

(1)言語変更

技術仕様書に定める範囲について、Java から C#へ変更する。

(2)要望対応

技術仕様書に定める要望事項について、プログラムの改修を行う。

(3)設計書作成

新規に設計書作成を行う。設計書はセンター情報解析課が指定する様式を使用する。

※上記改修作業に係る既存システムの構成及び作業内容の詳細については、別紙として添付した「技術仕様書」のとおりとする。

※上記改修作業以外で確認された不具合についてはセンター情報解析課に報告するものとし、対応の有無については協議の上で決定するものとする。

6 試験・検査

試験要領書、および現地試験要領書に従って試験を実施し、プログラムが正常に動作することを確認すること。尚、上記試験要領書は、事前にセンター情報解析課に提出して承認を得ること。本番環境での試験にあたっては、センター情報解析課内の開発環境で実施した試験の合否を示す一覧表と、その根拠となるエビデンス（キャプチャ等）を合わせて提出し、了承を得た上で実施するものとする。

7 業務に必要な資格等

(1) 資格

- ① 受注者は、品質に関する国際規格（ISO9001）又は日本工業規格（JIS Q 9001）に準じた品質マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的に改善していること。
- ② 受注者は、情報技術—セキュリティ技術に関する国際規格（ISO/IEC 27001）又は日本工業規格（JIS Q 27001）に準じた情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を確立し、実施し、維持し、継続的に改善していること。

(2) 技術能力

- ① 作業にあたる技術員には、プログラミング言語Java、C#を用いたアプリケーション、及び、データベース・システムMSSQL、ウェブサーバサービスWebLogic Server、IISを用いた開発・移行に相当する経験が5年以上ある者を充てること。
- ② 受注者は核物質の情報解析技術に関する知見、及び、情報解析に関連するシステムの開発経験を有すること。

8 支給品及び貸与品

(1) 支給品

なし

(2) 貸与品

業務ソフトのソースコード一式をセンター情報解析課から受注者に貸与する。ソースコードは、稼働中のJava版と初年度開発のC#版の両方を提供する。

開発及び本番環境（業務ソフト、DB等）についてはセンター内指定場所に限り利用可能とする。

9 提出書類

提出する書類を以下の表に示す。提出は、全ての作業終了時に一式を電子媒体で提出するものとし、紙媒体での提出は部数に記載のあるもののみとする。電子化が困難な書類についてはセンター情報解析課と協議の上で決定するものとする。

尚、確認時期とは次の工程へ進むために当該工程における成果物（書類又はキャプチャ等のエビデンス）をセンター情報解析課へ提示する時期であり、提出時期とは納品物として最終成果物を提示する時期である。但し、作業工程により確認時期が前後する場合は、センター情報解析課の了承を得て適切な時期を調整するものとする。

書類名	確認時期	提出時期	部数
① 作業実施体制表	契約締結後速やかに	納期までに	1
② 情報セキュリティ管理計画書 ^{*1}	契約締結後速やかに	納期までに	1
③ 作業工程表 ^{*2}	契約締結後速やかに	納期までに	1
④ 今回改修内容説明書 ^{*3}	開発開始前まで	納期までに	—
⑤ 開発試験要領書 ^{*4}	開発試験開始2週間前まで	納期までに	—
⑥ 開発試験結果（エビデンス）	開発試験終了後2週間以内	納期までに	—

⑦ 現地適用手順書 ^{※7}	開発環境適用1週間前まで	納期までに	—
⑧ 現地試験要領書 ^{※5}	開発環境試験開始2週間前まで	納期までに	—
⑨ 現地試験結果（エビデンス） ^{※6}	開発環境試験終了後速やかに	納期までに	—
⑩ プログラム設計書 ^{※3}	現地試験終了後3週間以内	納期までに	—
⑪ インストールマニュアル ^{※7}	現地試験終了後3週間以内	納期までに	—
⑫ ソース・プログラム	—	納期までに	—
⑬ 作業進捗報告書	2週間ごと（作業完了まで）	納期までに	—
⑭ 打合せ議事録	その都度速やかに	納期までに	—
⑮ 課題管理表 ^{※8}	その都度速やかに	納期までに	—
⑯ 情報セキュリティ管理報告書 ^{※1}	納期までに	納期までに	1

（提出場所）センター 情報解析課

- ※ 1 情報セキュリティ管理計画書及び報告書については、センターから所定の様式を提供するものとし、その他については特に定めはない。但し、設計書やマニュアルなどについては、新規作成するのが妥当と判断されたもの以外は既存の書式に可能な限り準拠するものとする。
- ※ 2 作業工程が納品書類の「④今回改修内容説明書」～「⑪インストールマニュアル」の順番で行われることを想定し、確認時期はレビューに要する期間を考慮して設定している。開発手法によってはこれらを変更することも可能だが、それぞれが確認を必要とする主旨を理解し、適切な工程と確認時期をセンター情報解析課に提示して承認をうけること。
- ※ 3 今回改修内容説明書とは今回作業における対応の実施内容の設計書であり、プログラム設計書とは既存の設計書のことでシステム全体の設計を記載したものである。受注者は、今回改修内容説明書で今回の設計内容を説明し了承を得た上で、その内容をプログラム設計書の必要な部分に反映するものとする。
- ※ 4 開発試験要領書とは、受注者の社内環境で行う試験に対して作成するものであり、原則として今回開発における全項目・全機能が記載するものとする。尚、ここでいう開発試験要領書とは、今回改修部分のみをとりまとめたものではなく、システム全体の試験要領書に対して必要な部分を追記・修正したものである。実際の試験では、その中から行うべき必要のある項目を抜粋して行うこととし、今回開発において不要な試験項目については、試験結果のエビデンスに未実施であることを分かるように記載して提出ものとする。但し、既存の開発試験要領書が十分に整備されおらず、追加・修正が困難な場合は、記載方法についてはセンター情報解析課と協議し作成方針の了承を得ること。
- ※ 5 現地試験要領書とは、開発試験要領書のうち現地で行うべき必要のある項目を抜粋したものの他、現地でしか行えない試験（新旧比較やデータ移行、レスポンス等の性能テスト）のことである。尚、開発試験要領書のうち現地で行わない試験結果については、開発試験結果（エビデンス）と同じであることを受注者が保証するものとする。
- ※ 6 現地試験結果（エビデンス）の取得対象環境はセンター情報解析課の開発系とす

る。但し、実データはキャプチャを含めて持ち出し不可のため、現地作業終了時にとりまとめた保存パス等を提供すること。

- ※7 現地適用手順書とは、今回の環境へ適用する場合の作業手順書のことであり、インストールマニュアルとは、新しいサーバ環境に1からシステムを構築する場合の作業手順書のことである。例えば、現地適用手順書では受注者環境で構築したデータベースを現地環境にコピーする手順だとしても、インストールマニュアルでは受注者環境で構築する際に使用したコマンド等を記載し、作成するのに使用したファイルやバッチ等の提供も行うものとする。
- ※8 課題管理表には、確認・調整手段にかかわらず全ての内容を記載すること。内容に曖昧さが生じないことと残案件の一元化を目的とするため、打合せや電話により口頭で応対したもの、議事録やメールなどの別媒体に記録されているものも含めて、今回作業における課題は本資料で全て網羅できるように記載するものとする。

10 検収条件

「6. 試験・検査」の合格、「9. 提出書類」の提出並びに、センター情報解析課が仕様書に定める業務が実施されたと認めた時を以て、業務完了とする。

11 契約不適合責任

- (1) 受注者は、当該業務について仕様書及び契約内容等との不一致（以下「契約不適合」という。）が発見されたときは、センターの当該契約不適合にかかる請求に基づき、受注者の負担においてセンターが定めた期限までに、業務の再履行その他必要な措置を執らなければならない。
- (2) (1)の請求は、センターが当該契約不適合を知った時から1年以内に不適合の内容を受注者に通知する。ただし、当該契約不適合を知った時から5年を経過した場合もしくは検収後10年を超えて発見された契約不適合は除く。

12 情報セキュリティの確保

受注者は、本業務の遂行にあたり、「センター 情報セキュリティポリシー」、「情報管理規程」及び「情報管理要領」（以下「情報セキュリティ関係規程」という。）に準拠した情報セキュリティを確保するものとする。特に、以下の点に留意すること。

- (1) 受注者は、本業務の開始時に、本業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制についてセンター担当者に書面で提出すること。
- (2) 受注者はセンター担当者から管理情報を提供された場合には、当該情報の区分に応じて適切に取り扱うための措置を講じること。また、提供されたことを証明する書類を提出すること。
- (3) また、本業務において受注者が作成する情報については、センター担当者からの指示に応じて適切に取り扱うこと。
- (4) 受注者は、センターからの指示に応じて、情報セキュリティ対策に関する監査を受

け入れること。

- (5) 受注者は、センター担当者から提供された管理情報が契約終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。また、本業務において受注者が作成した情報についても、センター担当者からの指示に応じて適切に廃棄すること。なお、返却又は破棄したことを証明する書類を提出すること。
- (6) 受注者は、センター内での作業や提出資料として電子媒体を使用する場合、事前にウィルスの感染等問題ないことを確認したうえで使用すること。また、それを証明する書類を提出すること。
- (7) 受注者は、本業務の終了時に、当該業務で実施した情報セキュリティ対策を報告すること。
- (8) センター計算機室で作業する場合、受注者はスマートフォンなどの記憶媒体を持ち込めないこととする。ただし、センターが許可し、センター立会者の許可の下使用する場合はこの限りではない。
- (9) 受注者は、USB 等の外部媒体を使用する場合はセンターが指定するものを利用し、センターの敷地内での利用に限定し、外部に持ち出さないこと。
- (10) 受注者は、システムを構成するソフトウェアのバージョンアップや脆弱性対策の必要性が確認された場合には、センターに報告の上で対応を協議し、必要に応じて適切な対策を講じること。

13 特記事項

- (1) 受注者は業務を実施することにより取得した当該業務及び作業に関する各データ、技術情報、成果その他のすべての資料及び情報をセンターの施設外に持ち出して発表もしくは公開し、または特定の第三者に対価をうけ、もしくは無償で提供することはできない。ただし、あらかじめ書面によりセンターの承認を受けた場合はこの限りではない。
- (2) 受注者は異常事態等が発生した場合、センターの指示に従い行動するものとする。
- (3) 受注者は、本業務により作成するプログラム設計書、ソース・プログラム及びその他の成果物に関する著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）をセンターへ無償で譲渡するものとし、著作者人格権を行使しないものとする。
- (4) 本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、センターと協議の上、その決定に従うものとする。
- (5) 作業にあたり、センター情報解析課との間で適時に十分な打合せを行うとともに作業の進捗状況をセンター情報解析課に隨時報告する。

以上

技 術 仕 様 書

1. 概要

本書は、業務ソフトのプログラムの改修作業の詳細を記載したものである。

2. 作業内容

情報解析課で所有する業務システムは、言語のサポート期限の対策、保守効率の向上、及びレガシ化したシステムの見直しを行う目的から、2025 年度から 2027 年度までの 3 年間でプログラム言語を Java から C#へ変更し、その他各種機能の見直しと設計書の再作成を行う。

発注は年度ごとに行うものとし、年度ごとに前年度までに開発された製品とあわせて開発系に適用・動作確認するものとし、最終年度には全てが統合された製品として運用系へ適用する想定である。また最終年には現行サーバのリプレイスが 2027 年 9 月に予定されているため、新サーバでの動作確認をあわせて実施する。尚、年度ごとに想定している開発範囲は以下のとおりとし、設計書については、既存のものを破棄して新規作成するものとする。

1 年目：メインメニュー、データ取込み及びマスタ関連画面の整備。

2 年目：中間ファイルの作成・結果参照・編集画面の整備。

3 年目：MUF/SRD 計算の整備、新サーバへのリリース、データ移行。

以下は 2 年目に想定している内容。

① 言語変更

Java から C#への変更。

＜変換予定機能＞

- ・中間ファイル作成機能
- ・中間ファイル管理機能

② 要望対応

- ・中間ファイル作成における重複データ編集方法の変更
- ・中間ファイル管理におけるストレータ分け機能の改良
- ・データベースの拡張

③ 設計書作成

対応した設計書の作成。

設計書のフォーマットはセンター情報解析課が定める規定の様式とし、原則としてそれ以外のフォーマットは認めないものとする。規定の様式は以下の通り分類される。

基本機能、外部連携機能、データベーステーブル、入出力ファイル、
画面、帳票、試験要領書

尚、一連の対応について、動作試験の進捗及び品質の状況は適宜センター情報解析課へ報告すること。

また、原則として実際のデータは貸与できないことから、調査にあたって十分な現地確認を実施するものとし、テストデータは受注者が用意すること。但し、簡易的なサンプルデータについてはセンター情報解析課にて準備し提供する。

3. 業務ソフトの構成

3-1 インストール対象

センター情報解析課が指定する 1 つの環境（開発系）に対して実施する。

3-2 変更対象

変更を行うソフトは次に示すとおり。尚、本ソフトは複数年計画で改修中のため、一部の情報に変更もありえることに留意すること。ただし、著しい変更があった場合には、センター情報解析課と協議して適切な対応方針を定めることとする。

1. MUF/SRD 解析システム

3-3 動作環境

動作環境は次に示すとおり。下線部分は変更箇所を示している。

<現環境>

- | | |
|------------------|--|
| ① サーバの OS | : Windows Server 2019 |
| ② クライアント PC の OS | : Windows 11 |
| ③ 開発言語 | : <u>JDK8.0</u> |
| ④ DB | : Microsoft SQL Server 2019 (互換性レベル 150) |
| ⑤ Web サーバ | : <u>WebLogic Server 14c (14.1.1.0)</u> |
| ⑥ Web ブラウザ | : Edge |

<開発環境>

- | | |
|------------------|---|
| ⑦ サーバの OS | : Windows Server 2019 |
| ⑧ クライアント PC の OS | : Windows 11 |
| ⑨ 開発言語 | : <u>C# (.NET8.0 以上)</u> |
| ⑩ DB | : Microsoft SQL Server 2019 (互換性レベル 150) |
| ⑪ Web サーバ | : <u>IIS10.0 (Windows Server 2019 相当)</u> |
| ⑫ Web ブラウザ | : Edge |

3-4 データベース定義

現在定義されている情報は次に示すとおり。

①MUF/SRD 解析システム

テーブル数 : 31 項目数 : 392

3-5 プログラム情報

プログラムのうち、主要なファイルの内訳は次に示すとおり。

尚、現在未使用のファイル、及び改行やコメント行も含んでいる。

- Java 238 本 (約 73000 行)
- Jsp 70 本 (約 19000 行)

ただしこれは、2024 年度開発終了時点の情報であり、2025 年度改修の内容は含まれておらず、すべて Java で構築された場合の情報である。

3-6. 主要画面構成

主要画面構成は次に示すとおりであり、サブウインドウやポップアップ、軽微な処理画面等の情報は含まれていない。尚、提供資源が2種類あることから、以下の情報は稼働中のJava版のものを記載するものとし、提供情報に変更がある部分については、「x x x x 参考 2025年度の主要な変更点について」に記載するものとする。。

<業務ソフト概要>

バルク施設の計量データ評価(MUF/SRD評価)を実施している。具体的には、一定の期間内に計量された核物質の収支を計算し、計量上の誤差の範囲内であるかを評価するものであり、この業務の効率化を図るために、誤差分散計算に使用する計量誤差の情報、ストラータ情報、収支期間情報、派出施設情報の管理、誤差分散計算を行うシステムである。

<画面構成>

A) 共通画面

・ログイン画面

ユーザー情報を入力し、メニュー画面へ移動する。

MUF/SDR解析システム

ログイン

ユーザーID

パスワード

ログイン

・メニュー選択

各業務画面へ移動する。



B) データ取り込み画面

・データ読み込み

対象の CSV ファイルを選択し読み込み処理を実行する。

MUF/SRD解析システム > 計量管理報告書データ取込

データ取込

選択	報告書タイプ	取り込みファイル名	ステータス	処理用	DB作成日	修正データ
<input type="checkbox"/>	ICR	ファイルの選択	ファイルが選択されていません			<input type="button" value="検索"/>
<input type="checkbox"/>	PIL	ファイルの選択	ファイルが選択されていません			<input type="button" value="検索"/>
<input type="checkbox"/>	MBR	ファイルの選択	ファイルが選択されていません			<input type="button" value="検索"/>

・修正データ選択

取込みデータ内に修正データに該当するデータがあった場合、MBAの一覧を表示する。

MUF/SRD解析システム > 計量管理報告書データ取込

修正データ選択

修正データ選択	
選択	MBA
<input type="checkbox"/>	

1 / 1 頁 (全 7 件)

収支期間未確定のデータを表示

・修正データ検索結果

修正データに対して、修正前後のデータ内容と差異のある項目を表示する。報告書タイプに応じて3種類の画面があり、それぞれ18項目、22項目、25項目を表示する。

C) データ検索画面

・データ検索

対象データのMBA、対象期間を入力して検索を開始する。

・データ検索値設定

対象となる報告書タイプごとに3種類の詳細検索を行う画面があり、それぞれ20項目、24項目、27項目の入力を可能とする。

MUF/SRD解説システム > 計量管理報告書データ検索

データ検索値設定

MBA	報告書タイプ	ICR	修正データ反映	YES	検索期間	2021/06/29 ~ 2024/11/08
<input type="checkbox"/>	項目名	検索値(全角入力禁止)		設定要領		
<input type="checkbox"/>	報告番号	<input type="text"/>	<input type="button" value="…"/>	数字6文字		
<input type="checkbox"/>	エントリー番号	<input type="text"/>	<input type="button" value="…"/>	数字2文字		
<input type="checkbox"/>	組織コード			英数記号1文字		
<input type="checkbox"/>	在庫変動日	<input type="text"/>	<input type="button" value="…"/>	日付(YYYYMMDD)		
<input type="checkbox"/>	払出側MBA/国コード			英数記号4文字以内		
<input type="checkbox"/>	受入側MBA/国コード			英数記号4文字以内		
<input type="checkbox"/>	在庫変動コード			英数記号4文字		
<input type="checkbox"/>	KMPコード			英数記号1文字		
<input type="checkbox"/>	バッチ名			英数記号10文字以内		
<input type="checkbox"/>	アイテム数			数字(最大4桁)		
<input type="checkbox"/>	物類記述コード			英数記号4文字		
<input type="checkbox"/>	供給国コード			英数記号4文字以内		
<input type="checkbox"/>	元素コード	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> T <input type="checkbox"/> A				
<input type="checkbox"/>	元素量差			数値(整数部最大10桁、小数部最大7桁)		
<input type="checkbox"/>	単位			英数記号(1文字)		
<input type="checkbox"/>	後分割性物質量差			数値(整数部最大10桁、小数部最大7桁)		
<input type="checkbox"/>	同形体コード			英数記号1文字		
<input type="checkbox"/>	測定ベースコード			英数記号1文字		
<input type="checkbox"/>	注釈コード			英数記号1文字		
<input type="checkbox"/>	データ修正先報告番号			数字6文字		
<input type="checkbox"/>	データ修正先エンタリー番号			数字2文字		
<input type="checkbox"/>	ネクスト報告番号			数字6文字		
<input type="checkbox"/>	ネクストエンタリー番号			数字2文字		
<input type="checkbox"/>	マスター報告番号			数字6文字		
<input type="checkbox"/>	マスターエンタリー番号			数字2文字		
<input type="checkbox"/>	処理月			日付(YYYYMM)		
<input type="checkbox"/>	修正データ判定ステータス			数字1文字		

検索

クリア

戻る

・データ検索結果

検索値に応じて検索結果を表示する。報告書タイプに応じて3種類の画面があり、それぞれ23項目、27項目、30項目を表示する。

D) 報告番号検索画面

・報告番号検索

対象データの MBA、対象期間を入力して検索を開始する。

MUF/SRD解析システム > 計量管理報告書データ検索

報告番号検索

検索条件を指定してください	
MBA	<input type="text"/>
報告書タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> ICR <input checked="" type="checkbox"/> PIL <input checked="" type="checkbox"/> MBR
修正データ反映	YES
検索期間(YYYYMMDD)	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
<input type="button" value="収支期間表示"/> <input type="button" value="クリア"/>	
収支期間開始日 収支期間終了日	
<input type="button" value=">"/> <input type="button" value=">>"/> 1/ 3頁 (全 32件)	
<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="メニュー"/>

・報告番号一覧

検索条件に応じて、詳細表示可能な報告番号の一覧を表示する。

MUF/SRD解析システム > 計量管理報告書データ検索

報告番号一覧

MBA		修正データ反映	YES	検索期間	
選択	処理月	収支期間（開始）	収支期間（終了）	報告番号	報告書タイプ
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					

1/ 1頁 (全 4件)

E) バッチ名検索

・バッチ名検索

対象データの MBA、バッチ名、対象期間を入力して検索を開始する。

・データ検索結果（バッチ名）

検索条件に応じて結果を表示する（31項目）

MBA	AAA1	バッチ名	XD	修正データ反映	YES	検索期間	2021/06/29 ~ 2024/11/08																					
報告書 タイプ	MBA	報告書 番号	エンタリー 番号	最終 コード	在庫変動日 コード	出出勤MBA/回 受入勤MBA/回	在庫変動 コード	アイテム数 コード	バッチ名 コード	アイテム数 コード	物質記述 コード	内純国 コード	元素 コード	元素量 量	単位 コード	積分値性 物質量	同名体 コード	測定ベース コード	注釈 コード	データ修正先 報告書号	データ修正先 エンタリー番号	次コスト 報告書号	マスター エンタリー番号	マスター エンタリー番号	処理月 コード	修正データ 再生ステータス	DB作成日	DB更新日

1/1頁 (全3件)

検索結果リフレッシュ 戻る

F) 中間ファイル作成画面

- #### ・中間ファイル作成状況一覧

中間ファイルの作成状況の照会、及び中間ファイルの作成実行画面へ移動する。

- #### ・中間ファイル作成実行

パラメータを入力し、中間ファイルを作成する。

MUF/SRD解説システム > 中間ファイル作成

中間ファイル作成実行

中間ファイル作成条件を指定して下さい

MUF/ SRD	<input type="button" value="…"/>
MBA	<input type="button" value="…"/>
対象期間	<input type="button" value="…"/> ~ <input type="button" value="…"/>
ファイル名	<input type="button" value="…"/>
オプション	<input checked="" type="checkbox"/> ①SRD処理の有無 <input checked="" type="checkbox"/> ②LN処理の有無 <input checked="" type="checkbox"/> ③静的物質処理の有無

G) MUF 中間ファイル管理画面

- 中間ファイル名一覧

MBA コードごとの MUF 中間ファイルの一覧を表示する。
一覧から選択したファイルに対して、画面下の各処理を実行する。

選択	No.	ファイル名	始首	期末
<input type="checkbox"/>	1	B	E	
<input type="checkbox"/>	2	B	E	
<input type="checkbox"/>	3	B	E	
<input type="checkbox"/>	4	B	E	
<input type="checkbox"/>	5	B	E	
<input type="checkbox"/>	6	B	E	
<input type="checkbox"/>	7	B	E	
<input type="checkbox"/>	8	B	E	
<input type="checkbox"/>	9	B	E	
<input type="checkbox"/>	10	B	E	
<input type="checkbox"/>	11	B	E	
<input type="checkbox"/>	12	B	E	
<input type="checkbox"/>	13	B	E	
<input type="checkbox"/>	14	B	E	
<input type="checkbox"/>	15	B	E	

> >> 1/9頁 (全 131件)

コード・名称変更 ファイル複写 ファイル結合 ファイル削除 メニュー
 ストラータ分け 二重データ削除 データ編集 ダウンロード アップロード
 MUF計算 MUF-D計算 MV計算 D計算 新MUF計算

- コード・名称変更

MBA コード、又はファイル名を変更する。

	変更前	変更後
MBA	[MBA]	[Search]
ファイル名	[ファイル名]	[Search]

実行 戻る

- ファイル複写

中間ファイルを複写する。

	複写元	複写先
MBA	[MBA]	[Search]
ファイル名	[ファイル名]	[Search]

実行 戻る

・ファイル結合

二つの中間ファイルを選択して結合する。

・ファイル削除

中間ファイルの削除を行う（削除指示コードを入力した時のみ）。

・ストラータ分け

ストラータ別の情報入力、及び CSV 出力を行う。ストラータは MUF/SRD 計算を実行する際の計算単位であり、ここでは計算前に対象の分別を行うものである。

・二重データ削除

重複対象のデータの削除処理の実行、内訳の表示を行う。二重データとは、一定期間内の在庫の変動がなかったもの（期首と期末が等しい在庫）を示し、評価計算には不要データとして扱うものである。

MUF/SRD解析システム > MUF用中間ファイル管理

二重データの削除指定

ファイル名	TEST9014
削除対象データを選択して下さい	
<input type="checkbox"/> 期首在庫と期末在庫が同一のデータ	件
<input type="checkbox"/> 期首在庫と期間減少が同一のデータ	件
<input type="checkbox"/> 期間増加と期末在庫が同一のデータ	件
<input type="checkbox"/> 期間増加と期間減少が同一のデータ	件
<input type="button" value="件数表示"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="内訳確認"/> <input type="button" value="戻る"/>	

・データ編集

中間ファイルデータの検索を行い、修正・複写・削除を実施する。

MUF/SRD解析システム > MUF用中間ファイル管理

データ検索

MBA	~	ファイル名											
検索条件を指定して下さい													
日付範囲指定	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>										
データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> I	<input type="checkbox"/> O									
バッチ名範囲指定	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>										
元素コード指定	<input type="checkbox"/> P	<input type="checkbox"/> H	<input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> N	<input type="checkbox"/> D								
元素重量範囲指定	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>										
ストラータ名指定	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>										
核分裂性物質重量範囲指定	<input type="text"/>	~	<input type="text"/>										
KMP指定	<input type="text"/>	※カンマ区切り	MDC指定	<input type="text"/>									
MOXフラグ指定	<input type="checkbox"/>		濃縮区分指定	<input type="text"/>									
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>													
選択	No	実在庫日	バッチ名	ELM	TYPE	ストラータ	アイテム	元素重量[kg]	核分裂性物質重量[kg]	KMP	MOX	MDC	濃縮区分
<input type="checkbox"/>	1												
<input type="checkbox"/>	2												
<input type="checkbox"/>	3												
<input type="checkbox"/>	4												
<input type="checkbox"/>	5												
<input type="checkbox"/>	6												
<input type="checkbox"/>	7												
<input type="checkbox"/>	8												
<input type="checkbox"/>	9												
<input type="checkbox"/>	10												
<input type="checkbox"/>	11												
<input type="checkbox"/>	12												
<input type="checkbox"/>	13												
<input type="checkbox"/>	14												
<input type="checkbox"/>	15												
<input type="button" value=">"/> <input type="button" value=">>"/> 1/5頁 (全 71件)													
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="複写"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="戻る"/>													

- ・ダウンロード
中間ファイルデータを CSV にしてダウンロードする。

- ・アップロード
CSV ファイルを使用して、中間ファイルを作成する。

MUF/SRD解析システム > MUF用中間ファイル管理

中間ファイル登録

MUF/SRD	MUF	MBA
一括更新または新規追加するファイルを指定して下さい		
対象ファイル	ファイルの選択	ファイルが選択されていません
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="QC結果ダウンロード"/> <input type="button" value="戻る"/>		

- ・MUF MUF 計算、MUF-D 計算、MV 計算、D 計算、新 MUF 計算
それぞれの計算処理を実行する。

MUF/SRD解析システム > 計算

MUF/MUF-D/SRD計算実行

計算実行条件を指定して下さい	
計算区分	1 : MUF
ファイル名	TEST9014
誤差対象件	
誤差タイプ	
核種	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D
区分変更	Y <input type="checkbox"/> <small>※濃縮の場合はNを指定</small>
<input type="button" value="実行"/> <input type="button" value="戻る"/>	

H) SRD 中間ファイル管理画面

- SRD 中間ファイル名一覧

MBA コードごとの SRD 中間ファイルの一覧を表示する。

一覧から選択したファイルに対して、画面下の各処理を実行する。

The screenshot shows a software interface titled "MUF/SRD解析システム > SRD用中間ファイル管理". The main title is "ファイル名一覧". At the top, there is a search bar with a placeholder "MBA" and a magnifying glass icon, followed by "検索" (Search) and "クリア" (Clear) buttons. Below the search bar is a table with 15 rows, each containing a checkbox, a number (No.), a file name (I), and two date columns (期首 and 期末). The first row is highlighted in yellow. At the bottom of the table, there are navigation buttons ">" and ">>" followed by the text "1/11頁 (全 157件)". Below the table are several buttons: "コード・名称変更", "ファイル復写", "ファイル結合", "ファイル削除", "メニュー", "二重データ削除", "データ編集", "ダウンロード", "アップロード", and a yellow button labeled "oSRD計算".

選択	No.	ファイル名	期首	期末
<input type="checkbox"/>	1	I	0	
<input type="checkbox"/>	2	I	0	
<input type="checkbox"/>	3	I	0	
<input type="checkbox"/>	4	I	0	
<input type="checkbox"/>	5	I	0	
<input type="checkbox"/>	6	I	0	
<input type="checkbox"/>	7	I	0	
<input type="checkbox"/>	8	I	0	
<input type="checkbox"/>	9	I	0	
<input type="checkbox"/>	10	I	0	
<input type="checkbox"/>	11	I	0	
<input type="checkbox"/>	12	I	0	
<input type="checkbox"/>	13	I	0	
<input type="checkbox"/>	14	I	0	
<input type="checkbox"/>	15	I	0	

- コード編集・名称変更～アップロードまで

「G) MUF 中間ファイル管理画面」と同等の機能で SRD に対応したもの

I) ストラータ情報管理画面

・ストラータ情報一覧画面

ストラータ情報の一覧を表示する。また、情報の追加・更新・削除・CSV ダウンロードの各処理を実行する。

・追加

ストラータ情報の追加処理を行う。

MUF/SRD解説システム > マスタ管理

ストラータ情報追加

追加内容を入力して下さい。(#は# : ALL)の指定が可能な項目です

MUF/SRD	<input type="button" value="▼"/>	MBA	<input type="button" value=""/>	
払出MBA番号	<input type="button" value=""/>	測定種類	<input type="button" value="▼"/>	
核種(#)	<input type="button" value="▼"/>	MOX(#)	<input type="button" value="▼"/>	
KMP(#)	<input type="button" value=""/>	MDC	<input type="button" value=""/>	
データタイプ(#)	<input type="button" value="▼"/>			
バッチ名(#)	<input type="button" value=""/>	バッチ名先頭1バイト(#)	<input type="button" value=""/>	
ストラータ番号	<input type="button" value=""/>			
備考	<input type="button" value=""/>			

- ・更新

ストラータ情報の更新処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

ストラータ情報更新

更新内容を入力して下さい／(#)(# : ALL)の指定が可能な項目です

MUF/SRD	<input type="text"/>	MBA	<input type="text"/>
拡出MBA番号	<input type="text"/>	測定種類	<input type="text"/>
核種(#)	<input type="text"/>	MOX(#)	<input type="text"/>
KMP(#)	<input type="text"/>	MDC	<input type="text"/>
データタイプ(#)	<input type="text"/>		
バッチ名(#)	<input type="text"/>	バッチ名先頭1バイト(#)	<input type="text"/>
ストラータ番号	<input type="text"/>		
備考	<input type="text"/>		

- ・削除

ストラータ情報の削除処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

ストラータ情報削除確認

選択された明細 1 件を削除します

削除する場合は DELETE を入力して下さい

- ・検索結果ダウンロード

ストラータ情報を CSV にしてダウンロードする。

J) 一括 (※ストラータ情報管理の右隣)

ストラータ情報について、CSV ファイルを使用して一括処理を行う。



- ・一括更新

CSV ファイルの内容で、一括更新を行う。

- ・新規追加

CSV ファイルの内容で、新規追加を行う。

- ・QC 結果ダウンロード

エラー情報を CSV にしてダウンロードする。

- ・データダウンロード

指定した MBA のストラータ情報を CSV にしてダウンロードする。

- ・ストラータ情報一覧

ストラータ情報一覧画面へ移動する。

K) 誤差情報管理画面

誤差情報の一覧を表示する。また、情報の追加・更新・削除・CSVダウンロードの各処理を実行する。

- 追加

誤差情報の追加処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

誤差情報追加

追加内容を入力して下さい				
MUF/SRD	<input type="button" value="▼"/>	MBA	<input type="button" value="▼"/>	年
誤差タイプ	<input type="button" value="▼"/>	私用MBA番号	<input type="button" value="▼"/>	測定機種
ストレータ番号	<input type="button" value="▼"/>			
施設者偶然誤差[%ref]	<input type="button" value="▼"/>	施設者短期系統誤差[%ref]	<input type="button" value="▼"/>	施設者長期系統誤差[%ref]
監査者偶然誤差[%ref]	<input type="button" value="▼"/>	監査者短期系統誤差[%ref]	<input type="button" value="▼"/>	監査者長期系統誤差[%ref]
偏り(胡旨在庫)	<input type="button" value="▼"/>	偏り(胡旨在庫以外)	<input type="button" value="▼"/>	
試料数(胡旨在庫)	<input type="button" value="▼"/>	試料数(胡旨在庫以外)	<input type="button" value="▼"/>	
(PU)元素重量[kg] (胡旨在庫)	<input type="button" value="▼"/>	(PU)元素重量[kg] (胡旨在庫以外)	<input type="button" value="▼"/>	
(U)元素重量[kg] (胡旨在庫)	<input type="button" value="▼"/>	(U)元素重量[kg] (胡旨在庫以外)	<input type="button" value="▼"/>	
(U)核分裂性物質重量[kg] (胡旨在庫)	<input type="button" value="▼"/>	(U)核分裂性物質重量[kg] (胡旨在庫以外)	<input type="button" value="▼"/>	
備考	<input type="text"/>			

実行

戻る

・更新

誤差情報の更新処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

誤差情報更新

追加内容を入力して下さい					
MUF/SRD	<input type="button" value="▼"/>	MBA	<input type="button" value=""/>	年	<input type="button" value=""/>
誤差タイプ	<input type="button" value="▼"/>	派出MBA番号	<input type="button" value=""/>	測定種類	<input type="button" value="▼"/>
ストラータ番号	<input type="button" value=""/>				
施設者偶然誤差[%rel]	<input type="button" value=""/>	施設者短期系統誤差[%rel]	<input type="button" value=""/>	施設者長期系統誤差[%rel]	<input type="button" value=""/>
販売者偶然誤差[%rel]	<input type="button" value=""/>	販売者短期系統誤差[%rel]	<input type="button" value=""/>	販売者長期系統誤差[%rel]	<input type="button" value=""/>
偏り(明細在庫)	<input type="button" value=""/>	偏り(明細在庫以外)	<input type="button" value=""/>		
試料数(明細在庫)	<input type="button" value=""/>	試料数(明細在庫以外)	<input type="button" value=""/>		
(Pu) 元素重量[kg] (明細在庫)	<input type="button" value=""/>	(Pu) 元素重量[kg] (明細在庫以外)	<input type="button" value=""/>		
(U) 元素重量[kg] (明細在庫)	<input type="button" value=""/>	(U) 元素重量[kg] (明細在庫以外)	<input type="button" value=""/>		
(U) 核分裂性物質重量[kg] (明細在庫)	<input type="button" value=""/>	(U) 核分裂性物質重量[kg] (明細在庫以外)	<input type="button" value=""/>		
備考	<input type="button" value=""/>				

・削除

誤差情報の削除処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

誤差情報削除確認

選択された明細 1 件を削除します

削除する場合は DELETE を入力して下さい

・検索結果ダウンロード

誤差情報を CSV にしてダウンロードする。

L) 一括 (※誤差情報管理の右隣)

誤差情報について、CSV ファイルを使用して一括処理を行う。

検索条件を指定して下さい

MUF/SDR	1 : MUF	検索	クリア
MBA			

全選択 全解除

選択	年	計算に使用する誤差 (デフォルト)	登録件数
<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

一括更新または新規追加するファイルを指定して下さい

ファイル ファイルの選択 ファイルが選択されていません

一括更新 新規追加 QC結果ダウンロード メニュー
データダウンロード デフォルト 誤差情報一覧

- ・一括更新

CSV ファイルの内容で、一括更新を行う。

- ・新規追加

CSV ファイルの内容で、新規追加を行う。

- ・QC 結果ダウンロード

エラー情報を CSV にしてダウンロードする。

- ・データダウンロード

指定した年の誤差情報を CSV にしてダウンロードする。

- ・デフォルト

計算に使用するデフォルト年を指定する。

- ・誤差情報一覧

誤差情報一覧画面へ移動する。

M) 払出施設情報管理画面

払出手先の MBA に関する情報の追加・更新・削除・CSV ダウンロードなどの各処理を実行する。

The screenshot shows a list of payment facility information. At the top, there is a search bar with fields for 'MBA' and 'MBA No.', and buttons for 'Search' and 'Clear'. Below the search bar is a table with columns: '選択' (Selection), '払出 MBA' (Payment Facility), '払出 MBA No.' (Payment Facility No.), and '備考' (Remarks). The table contains 21 rows, each with a selection checkbox and a number from 1 to 9 in the '払出 MBA No.' column. At the bottom of the table are navigation buttons for '>', '>>', and page numbers '1/ 2頁 (全 21件)', and action buttons for '追加' (Add), '更新' (Update), '削除' (Delete), '検索結果ダウンロード' (Search Result Download), and 'メニュー' (Menu).

・追加

払出施設情報の追加処理を行う。

・更新

選択した払出施設情報の更新処理を行う。

・削除

選択した払出施設情報の削除処理を行う。

The screenshot shows a confirmation dialog for deletion. It displays a message '選択された明細 1 件を削除します' (Delete the selected 1 item) and a warning '削除する場合は DELETE を入力して下さい' (Please enter DELETE if you want to delete). There is a 'DELETE' input field and a '戻る' (Back) button at the bottom.

・検索結果ダウンロード

払出施設情報を CSV にしてダウンロードする。

N) 収支期間情報管理画面

収支期間に関する情報の追加・更新・削除・CSVダウンロードなどの各処理を実行する。

MUF/SDR解析システム > マスタ管理

収支期間情報一覧

検索条件を指定して下さい			
MBA		検索	クリア
選択	収支期間（開始）	収支期間（終了）	収支期間番号
<input type="checkbox"/>			1
<input type="checkbox"/>			2
<input type="checkbox"/>			3
<input type="checkbox"/>			4
<input type="checkbox"/>			5
<input type="checkbox"/>			6
<input type="checkbox"/>			7
<input type="checkbox"/>			8
<input type="checkbox"/>			9
<input type="checkbox"/>			10
<input type="checkbox"/>			11
<input type="checkbox"/>			12
<input type="checkbox"/>			13
<input type="checkbox"/>			14
<input type="checkbox"/>			15

> >> 1/ 3頁 (全 40件)

[追加](#) [更新](#) [削除](#) [検索結果CSVダウンロード](#) [メニュー](#)

・追加

収支期間情報の追加処理を行う。

MUF/SDR解析システム > マスタ管理

収支期間情報追加

追加内容を入力して下さい	
MBA	
収支期間（開始）	
収支期間（終了）	
収支期間番号	41

[実行](#) [戻る](#)

- ・更新

選択した収支期間情報の更新処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

収支期間情報更新

更新内容を入力して下さい	
MBA	<input type="text"/>
収支期間（開始）	<input type="text"/>
収支期間（終了）	<input type="text"/>
収支期間番号	<input type="text"/>

- ・削除

選択した払出施設情報の削除処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

収支期間情報削除確認

選択された明細 1 件を削除します

削除する場合は DELETE を入力して下さい	<input type="text"/>
-------------------------	----------------------

- ・検索結果ダウンロード

収支期間情報を CSV にしてダウンロードする。

O) 整合性チェック画面

入力したストラータ情報、誤差情報、払出施設情報の整合性をチェックする。対象施設毎にストラータ別・測定方法別に誤差情報が正しく登録されているかをカウントし、カウントが0件であれば不足項目があることを画面に表示させる。

MUF/SRD解析システム > マスク管理

整合性チェック 【ストラータ情報／誤差情報／払出施設情報】

チェック条件を指定して下さい					
MUF/SDR	1 : MUF	MBA		チェック	クリア
年		誤差タイプ	1 : MPV		
以下のストラータ情報に該当する誤差情報または払出施設情報が不足しています					
選択	STNo	測定種類	払出MBANo	誤差情報	払出施設情報
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					

1/ 1頁 (全 4件)

チェック結果ダウンロード メニュー

ストラータ情報一覧 誤差情報一覧 払出施設情報一覧

- ・ チェック結果ダウンロード

チェック結果を CSV にしてダウンロードする。

- ・ ストラータ情報一覧、誤差情報一覧、払出施設情報一覧

それぞれ各一覧画面に移動する。

P) 計算結果一覧・実行画面

計算の実行と、計算結果一覧及び内容の照会、CSV ダウンロードを行う。

- 計算実行

選択した中間ファイルを元に計算を実行する。尚、実行できる計算は以下の6種類がある。

1 : MUF 2 : MUF-D 3 : SRD 4 : MV 5 : D 6 : NEW-MUF

MUF/SRD解析システム > 計算

MUF／MUF-D／SRD計算実行

計算実行条件を指定して下さい

計算区分	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/>
誤差対象牛	<input type="text"/>
誤差タイプ	<input type="text"/>
核種	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D
区分変更	<input type="checkbox"/> Y <small>※濃縮の場合はNを指定</small>

・計算結果

選択した計算区分に応じた結果画面を表示し、それぞれ結果の詳細、結果およびエラー情報の CSV ダウンロードを行う。

計算区分=MUF の場合

一覧

測定	標準	元素重量[kg]				核分裂性物質重量[kg]			
		MUF	σ_{MUF}	$1.96\sigma_{\text{MUF}}$	M	MUF	σ_{MUF}	$1.96\sigma_{\text{MUF}}$	M
P									
U									
H									
E									
N									
D									

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

ストラタ	元素重量[kg]			核分裂性物質重量[kg]		
	偶然誤差分散	長期系統誤差分散	短期系統誤差分散	偶然誤差分散	長期系統誤差分散	短期系統誤差分散
1						
2						
3						
4						
5						
7						

・計算結果ダウンロード

計算結果を CSV にしてダウンロードする。

・エラーダウンロード

計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=MUF-D の場合

一覧

MUF/SDR解析システム > 計算

MUF-D計算結果

計算条件		MUF-D計算結果							
項目	候補	MUF-D	0.950MUF-D	1.050MUF-D	M	MUF-D	0.950MUF-D	1.050MUF-D	M
P									
U									
H									
E									
N									
D									

計算結果詳細 計算結果ダウロード 計算明細ダウロード エラーダウロード 戻る
誤差情報一覧

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

MUF/SDR解析システム > 計算

MUF-D計算結果詳細

計算条件		MUF-D計算結果詳細							
項目	候補	元素量(kg)				核分裂性物質量(kg)			
ストーラ	バルク	施設者 偶然誤差分數	委員者 偶然誤差分數	短期系統誤差分數	長期系統誤差分數	施設者 偶然誤差分數	委員者 偶然誤差分數	短期系統誤差分數	長期系統誤差分數
57									
58									

- ・計算結果ダウンロード

計算結果を CSV にしてダウンロードする。

- ・計算明細ダウンロード

選択した核種の計算明細を CSV にしてダウンロードする。

- ・エラーダウンロード

計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=SRD の場合

一覧

SRD計算結果

計算条件					
ファイル名					
誤差対象年					
誤差タイプ					
区分変更					
選択	核種	元素重量[kg]			
		拠出施設値	確定値	SRD	σSRD
		P			
		U			
		H			
		<input type="checkbox"/> E			
		<input type="checkbox"/> N			
選択	核種	核分裂性物質重量[kg]			
		拠出施設値	確定値	SRD	σSRD
		U			
		H			
		<input type="checkbox"/> E			
		<input type="checkbox"/> N			
		<input type="checkbox"/> D			

計算結果詳細 計算結果ダウロード エラーアップロード 戻る
誤差情報一覧

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

MUF/SDR解析システム > 計算

SRD計算結果詳細

計算条件					
ファイル名					
誤差対象年					
誤差タイプ					
区分変更					
核種					
拠出機種	核種	元素重量[kg]			
		偶然誤差分數	短期系統誤差分數	長期系統誤差分數	
		57			
拠出機種	核種	核分裂性物質重量[kg]			
		偶然誤差分數	短期系統誤差分數	長期系統誤差分數	
		58			

・計算結果ダウンロード

計算結果を CSV にしてダウンロードする。

・エラーダウンロード

計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=MV の場合

一覧

MUF/SRD解析システム > 計算

MV計算結果

計算条件					
ファイル名					
誤差対象年					
誤差タイプ					
区分変更					
計算結果					
選択	核種	元素重量[kg]		核分裂性物質重量[kg]	
		V(MV)	σ MV	V(MV)	σ MV
		P			
		U			
		H			
		E			
		N			
D					

計算結果詳細 計算結果ダウロード エラーダウロード 戻る 誤差情報一覧

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

MUF/SRD解析システム > 計算

MV計算結果詳細

計算条件								
ファイル名								
誤差対象年								
誤差タイプ								
区分変更								
核種								
計算結果								
測定種類	パルク	元素重量[kg]			核分裂性物質重量[kg]			
		ストーラー	偶然誤差分散	長期系統誤差分散	短期系統誤差分散	偶然誤差分散	長期系統誤差分散	短期系統誤差分散
		3						
		4						
		6						
		8						
		9						
		10						
		17						
		18						

戻る

・計算結果ダウンロード

計算結果を CSV にしてダウンロードする。

・エラーダウンロード

計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=D の場合

一覧

MUF/SDR解析システム > 計算

D計算結果

計算条件
ファイル名:
誤差対象年:
誤差タイプ:
区分変更:

選択	核種	元素重量[kg]				核分割性物質重量[kg]			
		D	α_D	1.960D	M-1.650D	D	α_D	1.960D	M-1.650D
<input type="checkbox"/>	P								
	U								
	H								
	E								
	N								
	D								

計算結果詳細 計算結果ダウンロード 計算明細ダウンロード エラークロード 戻る 誤差情報一覧

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

MUF/SDR解析システム > 計算

D計算結果詳細

計算条件
ファイル名:
誤差対象年:
誤差タイプ:
区分変更:
核種:

ストップ	タ	元素重量[kg]				核分割性物質重量[kg]										
		施設名	蓄積名	施設名	蓄積名	施設名	蓄積名	施設名	蓄積名							
3	4	6	8	9	10	17	18	天然調査分査	長期系統調査分査	短期系統調査分査	偶然調査分査	长期系統調査分査	短期系統調査分査	偶然調査分査	长期系統調査分査	短期系統調査分査

戻る

・計算結果ダウンロード

計算結果を CSV にしてダウンロードする。

・計算明細ダウンロード

選択した核種の計算明細を CSV にしてダウンロードする。

・エラーダウンロード

計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=NEW-MUF の場合

一覧

MUF/SRD解析システム > 計算

新MUF計算結果

計算条件											
ファイル名 誤差対象年 誤差タイプ 区分変更											
		元素重量[kg]				核分裂性物質重量[kg]					
選択	核種	MUF	OMUF	1.960MUF	M-1.650MUF	M	MUF	OMUF	1.960MUF	M-1.650MUF	M
<input type="checkbox"/>	P										
<input type="checkbox"/>	U										
<input type="checkbox"/>	H										
<input type="checkbox"/>	E										
<input type="checkbox"/>	N										
<input type="checkbox"/>	D										

計算結果詳細 計算結果ダウロード 計算明細ダウロード エラークロード 戻る
誤差情報一覧

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

MUF/SRD解析システム > 計算

新MUF計算結果詳細

計算条件									
ファイル名 誤差対象年 誤差タイプ 区分変更 核種									
		元素重量[kg]				核分裂性物質重量[kg]			
選択	核種	偶然誤差分散	長期系統誤差分散	短期系統誤差分散	偶然誤差分散	長期系統誤差分散	短期系統誤差分散		
ストラーダ	バリエ								
1									
2									
3									
4									
5									
7									

戻る

- ・計算結果ダウンロード

計算結果を CSV にしてダウンロードする。

- ・計算明細ダウンロード

選択した核種の計算明細を CSV にしてダウンロードする。

- ・エラーダウンロード

計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

Q) ユーザー登録画面

ユーザー情報の登録・更新・削除を行う。

MUF/SRD解析システム > 運用管理

利用者設定

選択	ユーザーID	パスワード	ユーザー名	権限
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

追加 更新 削除 メニュー

・追加

ユーザー情報を追加する。

MUF/SRD解析システム > 運用管理

利用者追加

ユーザーID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
権限	<input checked="" type="radio"/> 一般 <input type="radio"/> 管理者

実行 戻る

・更新

ユーザー情報を更新する。

MUF/SRD解析システム > 運用管理

利用者更新

ユーザーID	USER
パスワード	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
権限	<input checked="" type="radio"/> 一般 <input type="radio"/> 管理者

実行 戻る

・削除

ユーザー情報を削除する。

4. 要望対応

改修における要望対応の詳細について以下に示す。

尚、事前調査等で認識している情報を記載したものであるため、改修にあたっては受注者の責任においてプログラムを調査解析し、改修方法を検討する。調査結果により、以下に示した内容以外においても改修が必要な場合や、別年度での改修予定部分への対応が必要な場合でも原則として改修するものとするが、程度に応じて別途協議の上で決定するものとする。

4-1 言語変更

Java を C# に変換する。各年度別の変換予定は以下の通りで、今回はそのうち 2 年目に該当する画面及びそれに関連する内部処理の変換を行うものとする。尚、各処理はプログラム内部で相互に関連しているため、関連の度合いによっては必ずしも処理が各画面単位で完結せず、1 年目的一部項目を後倒しとする、または 2 年目や 3 年目的一部項目を前倒しする状況が生じる場合があり得る（例えば、1 年目の改修を検討した結果、2 年目で変換予定の画面又は内部機能に対して改修が必要となる場合には、1 年目の作業範囲内として対応するものとする。逆に 2 年目に 1 年目の内容に対して追加対応を行う場合もあり得る）。これらの状況が生じた場合、その程度に応じて別途協議の上で決定するものとする。

(1 年目)

- A) 共通画面
- B) データ取込み画面
- C) データ検索画面
- D) 報告番号検索画面
- E) バッチ名検索
- I) ストラータ情報管理画面
- J) 一括（※ストラータ情報管理の右隣）
- K) 誤差情報管理画面
- L) 一括（※誤差情報管理の右隣）
- M) 払出施設情報管理画面
- N) 収支期間情報管理画面
- O) 整合性チェック画面
- Q) ユーザー登録画面

(2 年目)

- F) 中間ファイル作成画面
- G) MUF 中間ファイル管理画面
- H) SRD 中間ファイル管理画面

(3 年目)

- P) 計算結果一覧・実行画面

4-2 中間ファイルの作成元ファイルの追加

従来の「F) 中間ファイル作成画面」では、「B) データ読み込み画面」で読み込むファイルのうち ICR と PIL を使用して使用して中間ファイルを作成している。今回の改修において、MBR も取り込むよう改修する。

読み込む際の編集方法は、従来の ICR と PIL と同様の想定で在庫の変動を期首・期末・受入・払出ごとに集計するものであり、具体的な編集方法については、受注者が現行の集計方法を調査解析してセンター情報解析課に提示し、必要な改修点があれば対応を行うこと。

尚、ICR と PIL はそのデータの特性から、中間ファイルに集計した際には元データがどのデータであるかは分からぬ構造となっている。しかし、MBR についてはこれらと明確に区別が必要となるデータのため、従来のファイルフォーマットに元データが何であったかを判別できる区分を追加し、判別できるように対応を行うこと。

4-3 中間ファイルのストラータ分け機能の表示方法の見直し

「G) MUF 中間ファイル管理画面」のストラータ分け画面ではストラータ名という項目があるが、これは画面上に表示されている他項目を結合・編集した文字列であるため、項目ストラータ名は削除しその位置に結合元の項目を移動する対応する。項目はデータベースからも削除するが、画面の検索項目になっていることから、別項目で検索できるよう対応する。

また内容が英数記号の為に内容の判別が難しいことから、マスタを読み込んで内容を表示させる対応を行う。但し、マスタから読み込む情報は最大 60 文字程度であることから、項目幅は画面の大きさを元に適切な幅を設定し、ツールチップ等を用いて全体を判別可能にするよう対応する。

(表示項目の変更イメージ)

赤枠：削除 青枠：位置変更 緑枠：追加



(検索項目の変更イメージ)

検索条件を指定して下さい	
ストラータ指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O
元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>	
<div style="background-color: #e0e0ff; padding: 5px; display: inline-block;"> 重量系統誤差番号 <input type="text"/> ~ <input type="text"/> 分析系統誤差番号 <input type="text"/> ~ <input type="text"/> </div>	

4-4 中間ファイル名の桁数拡張

中間ファイルのファイル名の桁数を変更する。

8桁 → 20桁

4-5 中間ファイルの静的物質の削除方法の見直しについて

中間ファイルを作成する場合、オプション「静的物質処理の有無」で比較した結果で同一と見なされたデータ同士を削除する機能がある。幾つかの特定項目を比較することで、期首から期末までの間で変動がないデータを削除し、計算対象から除外するための対応である。

しかし、本来は項目の比較方法が2パターンあり、現状はこの1パターンにしか対応していないばかりか、もう1パターンで必要となるデータまで削除してしまうことから、どちらのパターンでも問題が発生しないように対応する。

変更仕様の想定としては、従来処理ではデータベースから物理的に削除していたものを、削除は行わず処理対象を示す区分登録に変更する。変更に伴いオプション選択も削除する。

但し、現状の削除した状態でも700万件近いデータが存在するため、削除しない場合にデータベースの肥大化とそれに伴う問題が懸念されるため、受注者はこれらについて適切な対処を検討し対処するものとする。

また、画面に表示されるメッセージなどは「二重データ」と表記されている箇所があるので、「静的物質」と文言を変更する。これに伴い、中間ファイル管理画面の「二重データ削除」機能を見直し、確認画面を表示させず、削除有無を確認するメッセージのみ表示して処理を実行する。

尚、現行の削除機能では、特定の条件を満たすと誤ったデータが削除される不具合が報告されているが、原因は不明である。このため、同仕様で区分をセットした場合に誤った区分セットが予想されることから、区分値の妥当性について検証し、既存の不具合が確認された場合にはあわせて改修するものとする。

(計算実行画面の変更イメージ)

「静的物質処理の有無」を削除

MUF/SDR解析システム > 中間ファイル作成

中間ファイル作成実行

中間ファイル作成条件を指定して下さい	
MUF/SDR	<input type="text"/>
MBA	<input type="text"/>
対象期間	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/>
オプション	<input checked="" type="checkbox"/> ①SRD処理の有無 <input checked="" type="checkbox"/> ②LN処理の有無 <input checked="" type="checkbox"/> ③静的物質処理の有無

(データベースの変更イメージ)

物理削除から、区分登録に変更。

「0:通常 1:静的物質」のような区分をセットする。

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	追加1	追加2

(二重データ削除の修正イメージ)

「二重データ削除」ボタンの名称を「静的物質区分再セット」に変更。

削除指定の画面は表示させず、「静的物質区分を登録しますか?」と確認するメッセージを表示して処理を行う。



The left screenshot shows the 'File Name List' screen of the MUF/SRD Analysis System. It displays a table of 15 files with columns for Selection, No., File Name, Period Start, and Period End. Below the table are buttons for 'Code・Name Change', 'File Rewrite', 'File Merge', 'File Delete', 'Strata Split', 'Delete Double Data' (which is highlighted with a red box), 'Data Collection', 'Download', and 'Upload'. A red arrow points from the 'Delete Double Data' button on the left to the 'Delete Double Data Confirmation' dialog box on the right.

The right screenshot shows the 'Delete Double Data Confirmation' dialog box. It has a title 'Delete Double Data Confirmation' and a sub-section 'Select the data to be deleted'. It lists four options with checkboxes:

選択	削除対象データ	件数
<input type="checkbox"/>	期首在庫と期末在庫が同一のデータ	0 件
<input type="checkbox"/>	期首在庫と期間減少分の一のデータ	0 件
<input type="checkbox"/>	期間増加と期末在庫が同一のデータ	0 件
<input type="checkbox"/>	期間増加と期間減少が同一のデータ	0 件

At the bottom are buttons for '件数表示' (Show Count), '削除' (Delete), '内訳確認' (Check Details), and '戻る' (Back).

また、中間ファイル作成状況画面で表示される処理中メッセージを修正する。他にある場合は調査確認し、存在する場合は報告のうえで修正する。

二重データを削除しています → 静的物質区分をセットしています



The screenshot shows the 'Intermediate File Creation Status List' screen. At the bottom, there is a table with columns 'オプション' (Options), 'ステータス' (Status), and 'メッセージ' (Message). The 'オプション' column has two entries: ① and ②. The 'ステータス' column has two entries: 完了 (Completed) and 静的物質区分をセットしています (Setting static material classification). The 'メッセージ' column contains the message '静的物質区分をセットしています'.

4-6 ラベル名の見直し

以下の3画面において、検索項目のラベル名から「指定」の文字を削除する。

例) 修正前：ストラータ指定

修正後：ストラータ

・ G) MUF 中間ファイル管理画面—Dストラータ分け

検索条件を指定して下さい	
ストラータ指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O
元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>	

・ G) MUF 中間ファイル管理画面—データ編集

検索条件を指定して下さい	
日付範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
バッチ名範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
元素重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
ストラータ名指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
KMP指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> ※カンマ区切り
MOXフラグ指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O
元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D
核分裂性物質重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
アイテム数指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
MDC指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
濃縮区分指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>	

・ H) SRD 中間ファイル管理画面—データ編集

検索条件を指定して下さい	
日付範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
バッチ名範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
元素重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
ストラータ名指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
KMP指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> ※カンマ区切り
MOXフラグ指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
在庫変動指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O
元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D
核分裂性物質重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
アイテム数指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
MDC指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
濃縮区分指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>	

5. 拡張（2025年度要望対応）

既に1年目の変更を対応中のため、参考のために1年目の要望対応の内容について記載する。内容は前年度仕様書に記載したものうち、一部を製造中の画面にさしかえたものであり、今後の改修で変更される場合もあり得ることには留意すること。

5-1 払出施設情報の見直し

「M) 払出施設情報管理画面」では、登録済の「払出 MBA 番号」と同一の番号を登録できない仕様となっている。

The screenshot shows a search interface with fields for 'MBA' and '払出 MBANo'. A table lists three entries, with the third row highlighted. A red box surrounds the '払出 MBANo' column of the third row. To the right, a message box displays the error: '指定された払出MBA番号は既に登録されています' (The specified payment facility number is already registered). An 'OK' button is at the bottom right of the message box.

しかし、この項目はキー項目でもなく、重複して登録したい場合があるため、本エラーを回避して登録できるように修正する。

5-2 コード情報テーブルの更新画面の作成

DB のテーブル「コード情報テーブル」は、現在メンテナンス用の画面が存在しておらず、必要に応じて DB を直接修正する仕様となっているため、追加・更新・削除・CSV ダウンロード機能を備えたメンテナンス画面を作成する。

・テーブル内容

キー	日本語名称	属性	桁数
○	コード区分	Char	2
○	コード	Char	4
	コードタイプ	Char	1
	コードフラグ	char	2
	備考	nvarchar	80

・画面イメージ

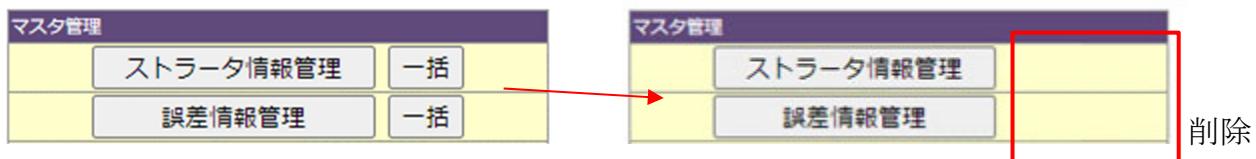
The screenshot shows a search interface with fields for 'コード区分' and 'コード'. Below is a table with columns: 'コード区分', 'コード', 'コードタイプ', 'コードフラグ', and '備考'. At the bottom are buttons for '追加' (Add), '更新' (Update), '削除' (Delete), and '検索結果ダウンロード' (Download search results).

5-3 ストラータ・誤差情報管理画面の一括処理の見直し

ルートメニューには、「I) ストラータ情報管理画面」には「J) 一括 (※～)」、「K) 誤差情報管理画面」には「L) 一括 (※～)」とそれぞれ個別処理と一括処理のボタンが配置されている。

今後、一括ボタンは個別処理画面内に配置してルートメニューからは削除し、重複する機能を見直して全体をスリム化させる。

(ルートメニューの変更イメージ)



(ストラータ情報管理画面の変更イメージ)

ボタン追加。押下時、一括画面へと遷移。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

ストラータ情報一括更新

一括更新またはデータダウンロードを行う際に指定して下さい

MUF/SDR	<input type="button" value="▼"/>	MBA	<input type="button" value=""/>
---------	----------------------------------	-----	---------------------------------

一括更新または新規追加するファイルを指定して下さい

ファイル	<input type="button" value="ファイルの選択"/>	ファイルが選択されていません
------	--	----------------

一括更新 新規追加 QC結果ダウンロード メニュー

~~データダウンロード~~ ~~ストラータ情報一覧~~

前画面の内容を自動セット

削除

(誤差情報管理画面の変更イメージ)

ボタン追加。押下時、一括画面へと遷移。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

誤差情報一括更新

検索条件を指定して下さい

MUF/SRD	1 : MUF	<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="クリア"/>
MBA			

全選択 全解除

選択	年	計算に使用する誤差 (デフォルト)	登録件数
<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

一括更新または新規追加するファイルを指定して下さい

ファイル	<input type="button" value="ファイルの選択"/>	ファイルが選択されていません
------	--	----------------

前画面の内容を自動セット

5-4 全選択、全解除ボタンの追加

「I) ストラータ情報管理画面」「K) 誤差情報管理画面」の一覧画面において、チェックボックスを一括で選択又は解除できる機能を追加する。尚、一覧に表示される検索結果は複数ページに跨る場合があるため、異なる頁を表示しても選択状態が解除されないように配慮すること。

(ストラータ情報管理画面の変更イメージ)

MUF/SDR解析システム > マスタ管理

ストラータ情報一覧

検索条件を指定して下さい／(#)(# : ALL)の指定が可能な項目です

MUF/SDR	<input type="text"/>	MBA	<input type="text"/>	私出MBA番号	<input type="text"/>	
測定機種	<input type="text"/>	核種(#)	<input type="text"/>	MOX(#)	<input type="text"/>	KMP(#)
		(タイプ(#))	<input type="text"/>	バッチ名(#)	<input type="text"/>	ストラータ番号

検索 クリア

全選択 全解除

選択 MUF/SDR MBA 私出 MBANO 測定 種類 核種 MOX KMP MDC データ タイプ バッチ名 先頭1ケタ付 ST No 備考 登録者

1/ 4頁 (全 601件)

追加 更新 削除 検索結果ダブルクリック

メニュー

(誤差情報管理画面の変更イメージ)

MUF/SDR解析システム > マスタ管理

誤差情報一覧

検索条件を指定して下さい／(#)(# : ALL)の指定が可能な項目です

MUF/SDR	<input type="text"/>	MBA	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	誤差タイプ	<input type="text"/>	施設者誤差	検索 クリア
私出MBA番号	<input type="text"/>	測定機種	<input type="text"/>	ストラータ番号	<input type="text"/>				

全選択 全解除

選択 MUF/SDR MBA 年 誤差 タイプ 私出 MBANO 測定 種類 ST No 備考 登録者

偶然 [%rel] 短期系統 [%rel] 長期系統 [%rel]

1/ 6頁 (全 30件)

追加 更新 削除 検索結果ダブルクリック

メニュー

5-5 誤差情報管理画面の見直し

「K) 誤差情報管理画面」から不要項目を削除する。また一覧画面に不足している項目を追加する。

(不要項目)

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

誤差情報追加

追加内容を入力して下さい					
MUF/SRD	<input type="text"/>	MBA	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>
誤差タイプ	<input type="text"/>	払出MBA番号	<input type="text"/>	測定種類	<input type="text"/>
ストーラータ番号	<input type="text"/>				
施設者偶然誤差[%rel]	<input type="text"/>	施設者短期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>	施設者長期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>
監察者偶然誤差[%rel]	<input type="text"/>	監察者短期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>	監察者長期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>
偏り(明細在庫)	<input type="text"/>	偏り(明細在庫以外)	<input type="text"/>		
試料数(明細在庫)	<input type="text"/>	試料数(明細在庫以外)	<input type="text"/>		
(Pu) 元素重量[kg] (明細在庫)	<input type="text"/>	(Pu) 元素重量[kg] (明細在庫以外)	<input type="text"/>		
(U) 元素重量[kg] (明細在庫)	<input type="text"/>	(U) 元素重量[kg] (明細在庫以外)	<input type="text"/>		
(U) 核分裂性物質重量[kg] (明細在庫)	<input type="text"/>	(U) 核分裂性物質重量[kg] (明細在庫以外)	<input type="text"/>		
備考	<input type="text"/>				
<input type="button" value="実行"/>		<input type="button" value="戻る"/>			

削除

(一覧に不足している項目)

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

誤差情報一覧

検索条件を指定して下さい										
MUF/SRD	<input type="text"/>	MBA	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	誤差タイプ	<input type="text"/>	<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="クリア"/>	
払出MBA番号	<input type="text"/>	測定種類	<input type="text"/>	ストーラータ番号	<input type="text"/>					
選択	MUF/SRD	MBA	年	誤差 タイプ	払出 MBANo	測定 種類	ST No	施設者誤差	備考	登録者
								偶然 [%rel]	短期系統 [%rel]	長期系統 [%rel]
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	1				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	2				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	3				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	4				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	5				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	6				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	7				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	8				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	B	88				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	E	1				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	E	2				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	E	3				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	E	4				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	E	5				
<input type="checkbox"/>	1	20	1	1	E	6				
> >> 1 / 303頁 (全 4534件)										<input type="button" value="メニュー"/>
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="検索結果クリア"/>										

3項目（査察者誤差の偶然、短期系統、長期系統）を追加する。

5-6 誤差情報の桁数拡張

「K) 誤差情報管理画面」の「年」は2桁で設定されており、西暦の下2桁を登録している。今後これを西暦6桁登録できるように変更する。

選択	MUF/SRD	MBA	年	誤差 タイプ
<input type="checkbox"/>	1		20	1
<input type="checkbox"/>	1		20	1

5-7 オレンジ色のボタンの見直し

「J) 一括 (※ストラータ情報管理の右隣)」「L) 一括 (※誤差情報管理の右隣)」「O) 整合性チェック画面」の画面下に背景色がオレンジ色のボタンが配置されている。動作はボタンにより異なっており、対象処理の実行、または対象画面へ移動するなどの機能が備わっている。

これらのボタンは今後不要となるため、今回作業において削除するものとする。

(例)

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

整合性チェック [ストラータ情報／誤差情報／払出施設情報]

チェック条件を指定して下さい

MUF/SRD	1 : MUF	MBA		チェック	クリア
年	21	誤差タイプ	1 : MPV		

以下のストラータ情報に該当する誤差情報または払出施設情報が不足しています

選択	STNo	測定種類	払出MBANo	誤差情報	払出施設情報
<input type="checkbox"/>	17	B	1	x	
<input type="checkbox"/>	18	B	1	x	
<input type="checkbox"/>	17	P	1	x	
<input type="checkbox"/>	18	P	1	x	

1/ 1頁 (全 4件)

チェック結果ダウロード メニュー

ストラータ情報一覧 誤差情報一覧 払出施設情報一覧

以上